

定 例 公 安 委 員 会

日 時：令和2年1月9日 9時30分～11時40分

出席委員：柘植委員長・後藤委員・那須委員・小笠原委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	初詣に伴う雑踏警備の実施結果	地域部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長
2 報告	主要事件の検挙	刑事部	地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長
3	交通事故発生状況（令和元年中）	交通部	名古屋市警察部長 情報通信部長 警察学校長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（21件）	総務部	公安委員会執務官
2 決裁	警察署協議会委員の辞職及び委嘱		
3 報告	人事案件	警務部	警 務 部 長
4 報告	愛知県による特定複合観光施設区域整備の実現可能性の検討		警 務 課 長
5 裁決	教習資格不認定処分に対する審査請求		訟 務 官
6 裁決	運転者区分決定に対する審査請求（4件）		
7 報告	令和2年交通事故死者数及び死傷者数の抑止目標の見直し	交通部	交 通 部 長
8 決定	聴聞等の実施結果・決定 47件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 地域部

初詣に伴う雑踏警備の実施結果

地域部長から、初詣に伴う雑踏警備の実施結果について、

「令和元年12月31日（火）から令和2年1月3日（金）までの4日間、熱田神宮等の神社等において雑踏警備を実施した結果、雑踏事故の発生はなかった」

旨の報告があった。

(2) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、

すり・置引き被疑者の検挙概要について報告があった。

(3) 交通部

交通事故発生状況（令和元年中）

交通部長から、令和元年中の交通事故発生状況について、

「交通事故死者数は、令和元年中156人で前年に比べ33人減少し、平成14年以来、17年ぶりにワースト1位を脱却した。

令和元年中の交通死亡事故の主な特徴としては、

高齢者死者の割合が高いが減少

四輪車死者が増加

車両単独が増加

西三河が増加

である。

1 月中の主な取組は、
一斉取締り等の実施
歩行者対策の強化
高齢者対策の強化
日没後対策の推進
交通機動隊の集中運用

である」
旨の報告があった。

委員から、
「交通死亡事故の減少傾向を維持できるよう、引き続き努力と工夫をしていただきたい」
旨の発言があった。

(4) その他

冒頭、委員長から、
「交通事故死者数及び住宅対象侵入盗認知件数ワースト返上を始め、植樹祭、G20外務大臣会合等大規模行事に伴う警備の完遂等、昨年は目に見えて大きな実績が上がった。長年努力を積み上げた成果であり、公安委員会としても誇りを持てる1年だった。
本年も、更なる『安全・安心』を目指し、実のある取組を期待する」
旨の発言があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（21件）

公安委員会執務官から、
1月3日までに届いた公安委員会宛の文書等21件
について報告があり、公安委員会は「警察官の言動に関する申出」を警察法79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱

公安委員会執務官から、
警察署協議会委員の辞職及び委嘱
について報告があり、警察署協議会委員 2 人の辞職及び後任者 2 人の委嘱に
ついて決裁した。

(3) 人事案件

警務部長から、
人事案件
について報告があった。

(4) 愛知県による特定複合観光施設区域整備の実現可能性の検討

警務課長から、
愛知県による特定複合観光施設区域整備の実現可能性の検討
について報告があった。

(5) 教習資格不認定処分に対する審査請求

訟務官から、教習資格不認定処分に対する審査請求について、
請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明
があり、原案どおり裁決した。

(6) 運転者区分決定に対する審査請求（4 件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求 4 件について、
請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明
があり、いずれも原案どおり裁決した。

(7) 令和 2 年交通事故死者数及び死傷者数の抑止目標の見直し

交通部長から、令和2年交通事故死者数及び死傷者数の抑止目標について、
「令和2年交通事故死者数の抑止目標は、第10次愛知県交通安全計画に定められているとおり『155人以下』とする。交通事故死傷者数の抑止目標は、第10次愛知県交通安全計画では『令和2年までに年間の死傷者数を39,000人以下を目指す』と定められているが、昨年中は、39,000人より大きく減少し、また、県警察においては、『減少傾向の定着』を最重要課題に掲げていることから、『36,000人以下』と策定した」旨の報告があった。

(8) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果	45件
風俗営業等の営業停止処分等に関する聴聞結果	2件

について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：令和2年1月16日 9時00分～12時20分

出席委員：柘植委員長・後藤委員・岩瀬委員・小笠原委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	令和元年中の110番受理状況	地域部	本務部 生活安全部 地域事務部 刑事部 交番 情報警察 古屋市通信学校
2	第17回愛知県警察通信指令・無線通話技能競技会の開催		
3	刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（令和元年中）	刑事部	
4	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（令和元年12月中及び令和元年中）	警備部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者	
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（9件）	総務部	公安委員会執務官	
2 決裁	警察署協議会委員の委嘱			
3 裁定	犯罪被害者等給付金支給裁定	警務部	住民サービス課長	
4 決裁	苦情の調査結果（3件）			
5 報告	監察案件		首席監察官	
6 報告	行政訴訟の発生及び応訴		訟務官	
7 裁決	運転免許取消処分に対する審査請求（2件）			
8 裁決	放置違反金納付命令に対する審査請求			
9 裁決	放置違反金の督促処分に対する審査請求			
10 裁決	運転者区分決定に対する審査請求			
11 報告	ストーカー行為等の防止等に関する法律に基づく警告等の実施		生活安全部	人身安全対策課長
12 決裁	ヤードにおける盗難自動車の解体の防止に関する条例の一部改正（案）		刑事部	国際捜査課長
13 報告	警察職員の援助派遣	警備部	公安第二課長	
14 決定	聴聞等の実施結果・決定 66件	総務部	首席聴聞官 聴聞官	

議事の概要

1 全体審議

(1) 地域部

ア 令和元年中の110番受理状況

地域部長から、

「令和元年中の110番受理件数は前年より12,415件増加の642,912件で、一日平均は1,761件の受理であった。その内、緊急性のない通報である『問い合わせ等』の通報が170,570件で、前年より19,677件増加した。全国警察における当県の受理件数は、全国で4番目に多い数字である」旨の報告があった。

委員から、

「引き続き、不要不急の通報を減少させる工夫をされたい」旨の発言があった。

イ 第17回愛知県警察通信指令・無線通話技能協議会の開催

地域部長から、標記競技会について、

「初動警察活動の要である通信指令技能の向上及び通信指令を担う人材の発掘と育成を図り、初動警察活動における事案対処能力の強化に資するため、1月21日（火）及び22日（水）に予選、1月23日（木）に本選を警察本部において開催する」旨の報告があった。

(2) 刑事部

刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（令和元年中）

刑事部長から、令和元年中の刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（前年との比較）について、

「刑法犯の認知件数は49,959件で、5,121件減少した

刑法犯の検挙件数は17,395件で、1,292件減少した
刑法犯の検挙率は34.8パーセントで、0.9ポイント上昇した
刑法犯の検挙人員は13,239人で、383人減少した
重要窃盗犯の認知件数は4,887件で、998件減少した
重要窃盗犯の検挙件数は2,442件で、260件減少した
重要窃盗犯の検挙率は50.0パーセントで、4.1ポイント上昇した
重要窃盗犯の検挙人員は495人で、15人減少した

なお、刑法犯認知件数は、戦後最多である平成15年の225,706件と比べ約175,000件減少した。

手口別では、侵入盗の認知件数は全国ワースト4位、住宅侵入盗は全国ワースト5位、自動車盗はワースト4位で、住宅対象侵入盗については平成19年から12年継続していた全国ワースト1位を脱却した」旨の報告があった。

委員から、

「これまで講じてきた様々な対策が侵入盗の大幅な減少につながったと思う。引き続き頑張っていたきたい」

旨の発言があり、

本部長から、

「侵入盗の更なる減少はもちろんのこと、被害額の大きい組織窃盗にも注目し、重点的に取り組んでいく」

旨の説明があった。

(3) 警備部

行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（令和元年12月及び令和元年中）

警備部長から、令和元年12月中及び令和元年中の行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可について、

「令和元年12月中、5件の許可申請を受理して、全て許可した。

また、令和元年1年間では、153件の許可申請があり、全て許可した」旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（9件）

公安委員会執務官から、

1月10日までに届いた公安委員会宛の文書等9件
について報告があり、公安委員会は「事故捜査に関する申出」2件及び「警察官の対応に関する申出」の3件を警察法79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 警察署協議会委員の委嘱

公安委員会執務官から、

「警察署協議会委員の死去に伴い後任候補者2人の推薦があり1人を委嘱する」

旨の説明とともに、

警察署協議会委員候補者一覧表の提示
があり、審議し、決裁した。

(3) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、

遺族給付金支給裁定 1件
について説明があり、原案どおり裁定した。

(4) 苦情の調査結果（3件）

住民サービス課長等から、

公安委員会宛の「犯罪捜査に関する苦情」、「交通取締り時の警察官の言動に関する苦情」及び「交通取締りに関する苦情」の3件について、調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、いずれも原案どおり決裁した。

(5) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(6) 行政訴訟の発生及び応訴

訟務官から、
運転免許取消処分取消請求事件に係る上告及び上告受理申立ての概要並びに今後の応訴方針
について報告があった。

(7) 運転免許取消処分に対する審査請求（2件）

訟務官から、運転免許取消処分に対する審査請求2件について、
請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明
があり、いずれも原案どおり裁決した。

(8) 放置違反金納付命令に対する審査請求

訟務官から、放置違反金納付命令に対する審査請求について、
請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明
があり、原案どおり裁決した。

(9) 放置違反金の督促処分に対する審査請求

訟務官から、放置違反金の督促処分に対する審査請求について、
請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明
があり、原案どおり裁決した。

(10) 運転者区分決定に対する審査請求

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求について、

請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明があり、原案どおり裁決した。

(11) ストーカー行為等の防止等に関する法律に基づく警告等の実施

人身安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施について、

「令和元年12月中は、押し掛け、粗野乱暴な言動、連続メール等を理由に8件の禁止命令を実施した。

また、待ち伏せ、面会等要求、連続電話等を理由に30件の警告を実施した」旨の報告があった。

(12) ヤードにおける盗難自動車の解体の防止に関する条例の一部改正（案）

国際捜査課長から、

「道路運送車両法が一部改正されたことに伴い、法律の文言を引用している、ヤードにおける盗難自動車の解体の防止に関する条例第2条第5号を改正する」

旨の説明があり、決裁した。

(13) 警察職員の援助派遣

公安第二課長から、

「広島県公安委員会から本県公安委員会に対し、警察法第60条第1項の規定に基づく援助要求があり、本部長専決として警察職員を派遣する」

旨の報告があった。

(14) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 62件

風俗営業等の営業停止処分等に関する聴聞結果 4件

について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：令和2年1月23日 8時45分～12時50分

出席委員：柘植委員長・後藤委員・岩瀬委員・那須委員・小笠原委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成31年（2019年）警察運営の基本目標に対する取組結果等	警務部	本 部 長 総 務 部 長
2	2月の行事予定		
3	組織窃盗グループ（SSG）壊滅プロジェクト推進結果	刑 事 部	警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長
4	犯罪組織壊滅に向けた取組		
5	暴力追放セミナーの開催		
6	主要事件の検挙		
7	名古屋市との治安連絡会の開催	名古屋市警察部	情報通信部長
8	初任科卒業式の実施（初任科第313期生）	警察学校	警察学校長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（6件）	総務部	公安委員会執務官
2	決定 自己情報開示請求に係る決定（2件）		
3	決裁 愛知県警察の組織に関する規則の一部改正（案）	警務部	警 務 課 長 首席監察官 訟 務 官
4	報告 平成31年度第3四半期（10～12月）監察実施結果		
5	報告 監察案件		
6	決裁 行政訴訟の発生及び応訴		
7	裁決 運転免許取消処分に対する審査請求		
8	裁決 運転者区分決定に対する審査請求（5件）		
9	決裁 空気銃所持許可申請に対する不許可処分の実施	生活安全部	保 安 課 長
10	報告 地域警察活動結果	地域部	地域総務課長
11	報告 令和2年上半期交通事故抑止対策	交通部	交 通 部 長 運転免許課長
12	決裁 優良指定自動車教習所表彰の実施		
13	決定 聴聞等の実施結果・決定 66件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

ア 平成31年（2019年）警察運営の基本目標に対する取組結果等

関係部長から、平成31年（2019年）警察運営の基本目標であった、
暴力団の壊滅
交通死亡事故の抑止～減少傾向の定着～
犯罪の抑止
大規模警備の完遂
に対する取組結果及び令和2年の取組方針について報告があった。

イ 2月の行事予定

警務部長から、
2月の行事予定
について報告があった。

(2) 刑事部

ア 組織窃盗グループ（SSG）壊滅プロジェクト推進結果

刑事部長から、
平成27年1月に発足した「組織窃盗グループ（SSG）壊滅プロジェクト」の推進結果及び終結
について報告があった。

イ 犯罪組織壊滅に向けた取組

刑事部長から、
「暴力団を中心とした犯罪集団に対し、刑事部内各課が連動し、総力

を挙げて集中的・計画的に対策を行うために昨年1月に立ち上げた『(オメガ)・プロジェクト』を推進し、当県で暗躍する犯罪集団の弱体化・壊滅を図り、県警の最重要課題である『暴力団の壊滅』『県民生活を脅かす犯罪への対処』を実現する」旨の報告があった。

委員から、
「非常に重要な取組である。頑張っていたきたい」旨の発言があった。

ウ 暴力追放セミナーの開催

刑事部長から、
「暴力団等による犯罪や民事介入暴力事案からの被害防止及び暴力団排除気運の高揚を図ることを目的に、2月4日(火)、日本特殊陶業市民会館において、公益財団法人暴力追放愛知県民会議主催による暴力追放セミナーが開催される」旨の報告があった。

エ 主要事件の検挙

刑事部長から、
不正競争防止法違反事件の検挙概要
不法就労助長等事件の検挙概要
について報告があった。

(4) 名古屋市警察部

名古屋市との治安連絡会の開催

名古屋市警察部長から、
「県警と名古屋市が、意見交換を行うことにより情報共有、連携を図るため、2月3日(月)、名古屋市役所において治安連絡会を開催する」旨の報告があった。

(5) 警察学校

初任科卒業式の実施（初任科第313期生）

警察学校長から、

「1月28日（火）午前10時50分から、警察学校において、初任科第313期生の卒業式を実施する」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（5件）

公安委員会執務官から、

1月17日までに届いた公安委員会宛の文書等6件について報告があり、公安委員会は「警察官の対応に関する申出」を警察法79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 自己情報開示請求に係る決定（2件）

公安委員会執務官から、

公安委員会宛の自己情報開示請求2件に係る決定案について説明があり、いずれも原案どおり決定した。

(3) 愛知県警察の組織に関する規則の一部改正（案）

警務課長から、

「令和2年度春季組織改正等に伴い、愛知県警察の組織に関する規則について必要な改正を行う」旨の説明があり、決裁した。

(4) 平成31年度第3四半期（10月～12月）監察実施結果

首席監察官から、
平成31年度第3四半期における監察の実施結果
について報告があった。

(5) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(6) 行政訴訟の発生及び応訴

訟務官から、
運転免許取消処分取消請求事件の概要及び今後の応訴方針等
について説明があり、決裁した。

(7) 運転免許取消処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許取消処分に対する審査請求について、
請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明
があり、原案どおり裁決した。

(8) 運転者区分決定に対する審査請求（5件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求5件について、
請求内容の説明並びに「裁決書案」の提示及び説明
があり、いずれも原案どおり裁決した。

(9) 空気銃所持許可申請に対する不許可処分の実施

保安課長から、空気銃所持許可申請に対する不許可処分の実施について、調査結果等及び不許可の理由の説明があり、一部修正の上、決裁した。

(10) 地域警察活動結果

地域総務課長から、
1月12日に稲沢署管内で発生した事案の概要等について報告があった。

(11) 令和2年上半期交通事故防止対策

交通部長から、
令和2年上半期における交通事故防止対策について報告があった。

(12) 優良指定自動車教習所表彰の実施

運転免許課長から、
「優良指定自動車教習所表彰規程に基づき、令和元年中、自動車教習所業務が極めて優秀であった指定自動車教習所8校を表彰する。表彰式は、2月13日(木)警察本部において実施する」旨の説明があり、決裁した。

(13) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 62件
風俗営業等の営業停止処分等に関する聴聞結果 4件
について報告があり、行政処分を決定した。